

金子耕式のファミリートーク

北海道・東北・沖縄県にて好評放送中!! その19



■子育ての最大の目標

「子育ての最も大きな目標はなんでしょうか」

先日、北海道でリスナー向けの講演会をした時に、会場の皆さんにこう質問しました。「子どもたちを一人前の大人として自立させること」という答えがすぐに帰ってきました。確かに、子どもを自立させることは、子育ての大きな目標だと思います。ただし、それは最大の目標ではないと思うのです。なぜなら、たとえ自立したとしても幸福感の薄い人生を送る人が大勢いるからです。子どもたちに幸福感の高い人生を歩ませたいと願うなら、是非とも教えてあげて欲しい秘訣があります。それは、神さまから与えられている能力や時間、その他与えられている全てのものを、自分のためではなく人のために使うことを教えることです。別の言い方をすると、人の役に立つことを喜びとすることが、幸せな人生を送る鍵になると思うのです。たいいての親たちは、子どもの将来の幸せのために、一生懸命勉強させたり習い事をさせたりします。それはそれでいいのですが、問題は何のためにそれをするかということ、深く考えさせる必要があると思うのです。例えば、ここに医者を目指す二人の医学生がいるとします。一人は高収入や社会的な地位を得るために一生懸命勉強しています。一方、もう一人の学生は、医者になって将来一人でも多くの人を助けたいと思って勉強しています。さて、どちらがより幸福感の高い人生を送るでしょうか。言いたいことはお分かりですね。人は、いくら頑張ってお金を稼いだとしても、あるいは、いくら有名になったとしても、いつか必ずこの世を去る時が来ます。その時は何も持っ

て行くことができません。もし、自分のことばかり考えているなら、年をとるにつれて幸福感は失われていくでしょう。でも、いつも人のために生きることを目標にしている人は違います。いくつになっても、生きる喜びと目的を持って幸せな人生を送ることができのです。このことを子どもたちに教えることこそ、子育ての最大の目標ではないでしょうか。

■生き甲斐を見いださせる

あなたの生き甲斐は何でしょうか。人が、生きる喜びや目的意識をもって前向きに生きて行くためには、生き甲斐を持つということが不可欠だと私は思います。あなたの生き甲斐は何でしょうか。私の長男は、現在大学3年生で英米文学を専攻しています。大学に入ったのは4年前ですが、本当ならば今年4年生のはずなのですが、まだ3年生です。ここで、その理由をお話ししましょう。彼は、高校時代から自分の人生に物足りなさを感じるようになり、何事にも冷めた状態で、なかなかやる気を出すことができずにいました。そんなある日、ポツリとこんなことを言いました。「あー、僕はやりたいことも見つからないから、早くじいちゃんになって盆栽でも眺める生活がしたいな」と聞いていた私は爆笑しました。でも本人は当時、本当に悩んでいたのです。ところが去年の秋、真剣な顔をして私のところに来て言いました。「ねえ、もしできるなら、今の学科から英米文学科に変わりたいんだ。僕、塾のバイトをしたり教会の子どもたちの面倒をみたりしてやっとなんか分かったんだ。『将来は教師になることが自分のやりたいことだ』って。でも、今の学科じゃ教職課程は取れないし、できたら英語の先

生になりたいから、来年の春に編入試験をうけて英米文学科に変わりたいんだ。でも、一つ問題があるんだ。たとえ試験にパスしても、単位の関係でもう一度2年生からやり直さなきゃいけないんだ。それってダメかな……?」

私はその言葉を聞いて二つ返事で、「分かった、いいよ。でも、そのためには頑張ってお勉強して、編入試験で合格しなきゃね!」と答えました。しかし、そう答えた私です……、頭の中では経済的な心配をしていました。息子は、バイトをして学費や小遣いに当てていましたが、それで全てがまかなわれていたわけではありません。また、下の子も現在大学の2年生ですから、親の負担は相当なものです。けれども私としては、やっとなんか分かったのを見て嬉しくして嬉しくて仕方なかったのです。「ああ、ようやくこの子の子育ては終わりだな」と、感無量でした。

大好評発売中

「いま子育てに必要なこと」

四六判並製本
229P 中西出版
●定価 1,365 円



「家族に贈るとっておきの話」Vol.1～3



四六判変形上製本
Vol.1: 151P
Vol.2: 148P
Vol.3: 149P
●定価(各) 1,575 円

ラジオ番組「金子耕式のファミリートーク」を編集したコラム集。FFJのスタッフで元アナウンサーの金子耕氏が自らの子育て経験を交え、日本の現状とニュースに合わせたショートメッセージをお届けします。